



# 学校だより



宮城教育大学附属特別支援学校

令和6年12月4日(水) No. 8

教育目標

- 1 児童生徒一人一人の発達に応じた適切な教育を行い、心身の調和的な発達を図ります。
- 2 社会の一員として、心豊かでたくましく生きる力を身に付けた子供の育成を目指します。

TEL 022-214-3353

FAX 022-214-3362

E-mail : tokushi@tokushi.miyakyo-u.ac.jp

URL : <https://tokushi.miyakyo-u.ac.jp>

## 社会から学び、社会へ発信し、社会とつながる

自然豊かな青葉山で、児童生徒は日々、「やさしさの種」「はたらくの種」「げんきの種」「まなぶの種」を育てています。11月は、学びの場を地域の資源に広げたり、日々の学びを発信したりする学習活動を通して、社会とつながる経験ができました。県庁販売会（ABC）では、中学部・高等部の作業製品の質のよさを褒められ、たくさんの製品を買い上げてもらいました。高等部は、ビルメンテナンス協会の方を外部講師に招き、プロの清掃作業を学び、働くことについて考えを深めました。附小交流では、学校見学の案内をしたり、リズム遊びの示範をしたりして、ふだんの学習から学んだことや知ったことを、附小児童に伝えました。中学部2年生は大学図書館に行き、学校図書室にはない本を見付け、新たな発見の連続だったようです。

今後も、学びの場を学校外に広げ、地域の資源も肥料として、児童生徒一人一人の種を育て、育った種から咲いた花や熟した実を社会に発信していくような学習活動に取り組んでいきます。

高等部「ビルメン講習」



ABC「県庁販売会」



小学部「附小交流」



中学部2年「大学図書館」

## 芸術の秋を味わう～定期鑑賞会～

11月22日（金）、豊かな情操を養ったり鑑賞する態度を育てたりすることをねらいとし、定期鑑賞会を行いました。今年も、宮城教育大学講堂を会場に、宮教大吹奏楽部の生演奏を楽しみました。児童生徒は、本物の楽器の音色の美しさや迫力に目を輝かせたり、なじみのある曲の演奏では手拍子や体を揺らして楽しんだり、音楽に親しみ芸術の秋を味わいました。



(文責 菅原 しのぶ)